

2013年2月21日

利根川・江戸川有識者会議
委員 各位

新潟大学名誉教授 大熊 孝
拓殖大学准教授 関 良基

参考人招聘のお願い

第8回利根川・江戸川有識者会議（2013年2月14日）において、貯留関数法における運動の式の両辺の次元が異なることが話題となった。この点は貯留関数法における具体的計算に大きな影響を与えるので、詳しい議論が必要だと考える。物理学者の富永靖徳氏（略歴・下記参照）がこの点に関して詳しいので、第10回利根川・江戸川有識者会議に参考人として招聘し、意見を聞くことを提案する。

よろしくご審議ください。

略歴

氏名：富永靖徳（とみながやすのり）（生年月日：1944.5.10 68歳）

◆ 学歴・職歴

1973(S.48)年3月 東京大学大学院理学系研究科博士課程
物理学専攻 終了（理学博士）

1973(S.48)年4月～1978年1月
東京大学物性研究所 助手

1978(S.53)年1月～1988年7月
お茶の水女子大学 理学部 助教授

1988(S.63)年8月～1997年3月
お茶の水女子大学 理学部 教授

1997(S.9)年4月～2010年3月
お茶の水女子大学大学院 教授

◆ 現在：お茶の水女子大学名誉教授

◆ 専門：化学物理

<水を代表とする水素結合物質の分光学的研究>

◆ 備考：「貯留関数法の魔術 ―ダム事業を根拠づけるデータの非科学性」
岩波書店「科学」3月号に掲載予定